

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

救急医療センタースタッフの身体・精神的負荷のモニタリング 忙しさは定量化できるのか？

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、研究実施機関の長の研究実施許可から2030年3月31日までに昭和医科大学藤が丘病院の救急外来を受診した患者さん、救命救急センターに入院した患者さん

2. 研究目的・方法

救急医療センターは夜間・休日・祝祭日は病院唯一の窓口のため、受診患者さんが集中し、限られたスタッフで、多くの業務を同時にこなします。このため、一般外来・病棟と比較して、緊急性や重症度が高いイレギュラーな業務が多くなっています。また、曜日・季節・時間帯により大きく変動し、スタッフには大きな身体的・精神的な負荷がかかっております。しかし、これまで救急医療センタースタッフの負荷（業務量）をモニタリングした研究はなく、救急車の受け入れ台数・救急外来受診者の数で負荷の推測をおこなってきました。2024年から『医療者の働き方改革』が始まり、スタッフの勤務に制約がかかり、効率的な人員の運用が求められています。本研究ではスタッフにウェアラブルデバイスを装着し、救急医療センターの業務量のみえる化を模索しております。また、院内に設置してあるカメラ映像を解析しスタッフの移動スピードなどをを利用して忙しさの定量化を行います。患者さんのデータは解析からは除外され、個人情報保護について厳重な取り決めを行った業者とともに解析いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

救急外来、救命救急センターに従事しているスタッフにウェアラブルデバイスを装着し解析を行う。また、救急外来、救命救急センターを録画している映像からスタッフの移動距離や表情を解析し、忙しさやストレスのみえる化を行う。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で収集した救急外来や救命救急センターの映像からは患者さんの情報は取り除くまたは匿名化を行う。これらの映像は昭和医科大学病院の外部から切り離されたコンピューター内およびパスワードを設定したUSBメモリに保存されます。個人情報の保護について厳格な契約を行った外部機関に委託し映像を送信し解析を行います。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学藤が丘病院救命救急科 柿佑樹

外部委託機関

機関名 株式会社 Rist 氏名 河之口達也

役割：録画映像の Motion capture 解析、混雑率算出、感情認識 AI 解析（契約に基づく）。RIST 社は解析後に集計値（解析結果のみ）を返却する。原画は院内で保管し、外部へは厳重な守秘義務契約を結び患者データを除いた映像を提供します。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院救命救急科 氏名：柿佑樹

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-974-6360